

# School Magazine

本校は木曾高校と木曾山林高校と統合し昨年で10年目になりました。  
10周年記念事業として相撲場を建設し本校の卒業生でもある御嶽海関を招き、  
3月28日に土俵開きを実施しました。

同窓会 十周年実行委員 高木 豊明

## 第12回入学式挙行

4月5日に第12回木曾青峰高等学校入学式が挙行されました。全日制普通科38名、理数科40名、森林環境科32名、インテリア科40名、定時制普通科2名の計152名の新入生が入学しました。

入学式にあたり二つお話しします。  
一つ目は、本校の一員となった今こそ、気を引き締めてほしいということです。皆さんの中に高校に入学できたことに満足し、または安心して、新しく買ってもらったスマホに夢中になったり、高校生になって得られた自由をはき違えそうな人はいないでしょうか？むしろ、同じスタートラインに立ったここから勝負だという意識を強く持ってください。  
二つ目はなぜ学ぶのかについてです。「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと云へり。」  
今から一四二年前に完成した『学問のすすめ』に福沢諭吉が残したこの言葉には実は続きがあります。後段には、人は生まれながらにして貴賤や上下の別はないが、現実には人の世は平等ではないと断言し、その差が学ぶか学ばないかによって生じると説きます。そして学問が重要である理由として、この当時の日本を取り巻く国際環境、すなわち欧米列強の植民地にされてきたアジアの地域や、アヘン戦争を経て次第に侵食されつつある清国の状況から、日本が異国に支配されないためには国民が広く学問を修め、国力をつけるしかないと続けます。

中略  
言うまでもなく高校生活は勉強が全てではありません。部活動等を通じて、体も心も大きく成長してほしいと願っています。ただ、自分が生きている時代と近未来を的確に把握しているかどうかで、高校生活の中身の濃さは大きく異なってくるはずで、後から振り返った時、楽しくもあり苦しくもあり、自らを鍛えたことで人間として大きく成長できたと思える、そんな充実した時間となることを教職員一同心から期待しています。



木曾青峰高等学校長 横野 秀昭

## 高校生活スタート

新入生もいよいよ青峰での高校生活が始まりました！  
1日も早く学校生活に慣れるよう、オリエンテーション、ガイダンス、対面式、クラブ説明会が行われました。

## 対面式

1年4組 森林環境科 松原 千夏 【大桑中卒】

生徒会長 3年1組 理数科 栗屋 一輝 【木祖中卒】

新しい生活に期待と不安を持つ中、先輩方との対面式がありました。  
初めて先輩方とのイベントで緊張していましたが、先輩方が生徒会や蒼陵祭等を面白く説明してくださったので、緊張もなく楽しく、たくさんを知ることができました。そして、これからの新しい生活に対して、まだ分からないこともあるかもしれませんが、早く学校生活に慣れていきたいです。

ご入学おめでとうございます。  
さて、昨日は入学式があり、今日は対面式と、さっそく行事盛りだくさんで始まった高校生活ですが、2日経ち新しい友達はできましたか。  
これから、色々な人との出会いがたくさんありますが、高校の友達も一生の友達になると思うので、たくさんの人と深い繋がりをもって生活を送ってください。  
新入生の皆さんは高校生活で何を楽しみにしていますか。高校は皆さんが「やりたい」、「頑張りたい」と思うことを存分にできる場所です。失敗してもいいので、色々なことにチャレンジしてください。  
最後になりますが、2、3年生の先輩方や先生方が皆さんの生活をしっかり支えてくださるので、安心して楽しい高校生活を送ってください。

## クラブ説明会・結成式

4月9日にクラブ説明会が行われました！  
運動部15団体、文化部10団体、同好会2団体、計27団体が発表を行いました。各部活、それぞれの活動実績・実演を行い、新入生に、部活動の魅力を伝えることができました。  
新入生は、興味あるクラブに1週間の体験入部し、13日の結成式に参加しました。



## 定時制

2名の新入生が入学し、新学期がスタートしました。  
1日も早く学校生活に慣れるため、定時制でもクラブ、委員会などの説明会が行われました。



本日は私達、平成三十年度木曾青峰高等学校新入生のために、盛大な入学式を催して頂き、誠にありがとうございます。  
私達は、今日から始まる新たな学校生活に対し、期待や不安などの様々な想いを抱いてこの学校の門をくぐりました。  
義務教育の九年間を終えた今、これからは自分の決めた道を歩まなければなりません。その自覚を持ち、今までより専門的になる学習や部活動、生徒会、進路を選ぶ重要な三年間・四年間になります。そのためには、今までの仲間はもちろん、これからは自分自身、仲間、先輩方との関わりを深め、協力することが大切だと思えます。そうして、自分の夢に少しでも近づけるよう、充実した高校生活にしたいです。  
最後に校長先生を始め、諸先生方、先輩方、そして地域の皆様には暖かいご指導、お導きのほどをよろしくお願ひします。そして保護者には、通わせていただき感謝の気持ちを持ち、これからの高校生活を送りたいです。  
この木曾青峰高等学校の生徒の一員であることに誇りを持ち、卒業を迎えるまでの日々を、木曾青峰高等学校の名、そして自分自身に恥じぬよう、精一杯悔いのないように過ごしていくことをここに誓い、宣誓の言葉とさせていただきます。

一年一組 野尻 優月【理数科・大桑中卒】

今年度もスクールマガジンを発行します。このスクールマガジンを通じて本校の様子を中学生及び地域の皆さんに紹介させていただきたいと思っております。また本校のウェブサイトもあわせてご覧いただければ幸いです。  
■木曾青峰高等学校 教務室 Tel : 0264-22-2315 / Fax : 0264-21-1056 URL : http://www.nagano-c.ed.jp/seiho/  
■ご意見・ご質問は下記までお寄せください。E-mail : seiho@nagano-c.ed.jp